

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒156 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

10月来館者数 3,333名
月平均来館者数 3,504名
日平均来館者数 137名
通算来館者数 185,705名

主張

放射性廃棄物の海洋投棄に

反対することの意義

専務理事 広田重道

●放射性廃棄物とは
東海村にある原子力研究所や最近、つぎつぎに建設されている原子力発電所の原子炉から出るのが放射性廃棄物です。それは、低放射能の物質だとは言っても、それが「死の灰」と同じように危険なものであることは否定できないのです。政府などは、決して危険はないと言いつつ、それを朝鮮に近い日本海や中部太平洋のパラオ島近くの海洋に投げ捨てようと必死になつています。

●投棄は当然おきた問題
大體、原子力研究所を日本に建設し、また、アメリカから原子力発電所計画を持ちこんできたときから、その原子炉からは当然、核燃料の放射性廃棄物が出てくることは分つていた筈です。しかも、それをどう処理するかを解決しないままに、儲け

が先きに立つて、どんどん建設が進められたのです。だから今日のようなゴリ押しの投棄問題が起つてきたのも不思議ではないのです。●許容量はあり得ない
海洋投棄は、その付近住民の生活環境の破壊だけではなく、海洋そのものの汚染を招き、海水の移動とともにその流域の諸島迄をも汚染することは明らかです。それにも拘らず、それが低放射性物質だから安全と主張するのは、例の許容量理念によるものです。●許容量とは、人類の経済的利益のためには、多少の放射能害は許されるといふ考え方で、われわれは賛成できません。

●投棄反対の意義

●投棄反対は、単なる地域の環境破壊だけではなく、地球全体の環境破壊に反対することである

り、人類の未来への脅威をとり除くためのたまたかいなのです。それは許容量という勝手な口実のもとに、人類の未来を売り渡して恥じない悪魔の心とたたかいでもあるのです。また、弱小民族への脅迫と懐柔の政策にたいする反対でもあり、その今日的な意義については、もつともつと掘り下げて考えるべきであります。

核時代を考える

講演と映画の夕べ

日時 11月20日(木)夜6時
場所 江東区民センター
(都営新宿線 西大島駅下車)
講演 アメリカの廃墟と
残存放射能

フォト・ジャーナリスト 豊崎博光氏
映画 世界は恐怖する
(参加費無料)

秋の団体見学最盛期

今年も秋の団体見学シーズンが始まりました。毎年九月から十一月にかけて、日現在)と、やはり他の時期に見学団体が多くなりますが、今年も九月が七団体五〇八名、一

映画解説

世界は恐怖する

ピキニ事件以後活発になった放射能害の調査・研究を中心に まとめた長編記録映画。魚やモルモットなどの動物実

大学経済学部教室で開催。

●第二回平和・軍縮討論集会
一〇月二六日(二六日、東京都勤労福祉会館などで開催。

●日本原水協二五周年記念集会
一〇月二七日夜、九段会館で開催。

●東京平和教育研究会結成集会
一〇月二九日夜、神田・労音会館で開催。

各界秋の行動

●一〇・二一国際反戦デー
一〇月二二日夜、明治公園で一〇万人を集めて開催。

これらの団体には、二年連続で修学旅行に來た和歌山県上秋津中学や、毎年社会見学をやつて來る埼玉県水谷東小、桐朋女子中など、すっかり定着した団体があります。又、今年の特徴としては、町内会、婦人会、交り種では富士講など、一般団体の見学が増え、年々見学団体が多種多様になる傾向にあります。

●映画による放射能の影響研究や、立教大田島教室や気象研三宅研究室などでの大気汚染の研究風景。更に広島での被爆が原因と考えられる奇形児や単眼児の写真などを交え、その恐ろしさを科学的視点から余すところなく映像化した。

●一九五七年度、日本ドキュメント社製作。監督は、「戦う兵隊」生きていてよかった」のメガホンを握った記録映画の第一人者、亀井文夫である。

編集後記

▽いつもの年より早く夢の島に木枯が吹き渡つてきています。鉄の扉がガタガタ音をたてて思わず首をすくめたくなる日が早くも來た感じがします。

▽記録的な冷夏といい、何とも異常なことしの天候の在り方に気象研究所の技官がアメリカのセントヘレンズ火山の爆発による灰が原因、と結論を出したと新聞が報道しています。

▽たしかにそれも原因かも知れないが、一九四五年のアラマゴールド、広島・長崎の原爆実験から使用いらい今日まで、公表されただけでも千百回以上という原水爆の実験が、大気圏や海洋に及ぼした影響を無視することはできません。

▽レジャー・ブームとか、登山や観光で自然を楽しむ人が、年ごとにふえ続けていますが、その内のどれだけのひとが、自然破壊、環境汚染に抵抗しているでしょうか。(H)

資料

南太平洋に広がる核反対

この資料は、朝日新聞一〇月二九日付に載った瀬木博道記者の記事により作成した。

●白血病患者被害

フランスは一九六〇年から六三年にかけて、サハラ砂ばくで核実験をしてきたが、アルジェリアの独立によって、実験が続けられなくなり、海外領土ポリネシアのムルロア、ファンガタウファ両環礁が選ばれ、六六年から大気圏、七五年以後は地下核実験に切り替えた。また、米国は四六年以来、マーシャル群島のビキニ環礁で核実験を行った。ストックホルム国際平和研究所によれば、核実験の回数は、六六年以来現在まで大気圏、地下実験を合せて、フランスはムルロア、ファンガタウファ両環礁で七二回、米国は四六、五六、年、マーシャル群島で六六回、北太平洋の米領ジョンストン島で七回の計七三回に上っている。このほか、英国も南太平洋のク

リスマス島で六二年までに三六回行っている。この実験による死の灰や放射性降下物で、実験地周辺では環境破壊のほか、住民の間に、肺ガン、白血病、甲状腺障害などの被害が出ていた。●まず沿岸諸国反発

ところが、これらの太平洋の島々は、大国の軍事目的のために、気ままに使われておりながら、米仏両国の統治下にあったため、六〇年代には、住民の間からの反対の動きは表面に出ずじまだった。しかし、フランスが六八年八月、ファンガタウファ環礁で初の水爆実験をしたのをきっかけに、まず、オーストラリア、ニュージーランド両国をはじめとする沿岸諸国政府の間で反対の動きが開始された。こうした反対の動きが太平洋諸国の住民にもようやく影響を及ぼし、反対の声は七〇年代の半ばに入って高まり出した。七五年五月にフィジーで民間では

最初の第一回非核太平洋会議が開かれ、太平洋諸国の米国による軍事利用と、フランスの核実験に反対決議がされ、同年六月、ニュージーランドのローリング首相(当時)も南太平洋を「非核地帯化」するための国際会議開催を提唱した。

これに続いて、七八年十一月末、ミクロネシアのポナペで開かれた第二回非核太平洋会議では、これまでの大国の軍事利用に反対するとともに、太平洋諸島の独立推進の必要を確認した。●今年に入り急発展

核廃棄物の投棄問題が引金となり、五月十日からハワイのホノルルで第三回非核太平洋会議が開かれ、「パラオの非核憲法支持」「日本政府の核廃棄物の海洋投棄反対」「非核太平洋人民憲章制度」など二六項目が決議された。

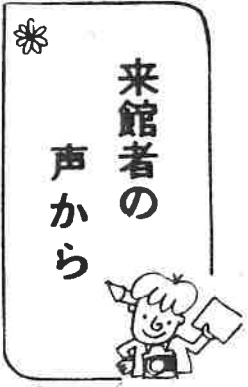
さらに、七月一四日から二日間、キリバス島で「南太平洋フォーラム」が開かれ、オーストラリア、ニュージーランドをはじめとする十二カ国政府代表が

集まった。八月の原水禁世界大会には、クロネシア、太平洋諸島の住民の代表が出席、日本政府の核廃棄物の海洋投棄に反対し、八月十四、十五日の両日、太平洋の島々の政府首脳による第二回太平洋諸国首脳会議がグアム島で開かれ、ここでも放射性廃棄物の海洋投棄反対が決議された。九月末に、オーストラリアのシドニーで「非核太平洋フォーラム」が、同国の反戦団体「オーストラリア国際協力と軍縮のための協会」の提唱でひらかれている。

●パラオの非核憲法の行方 七月九日、国連の信託総治領であるパラオの「非核憲法」が住民投票の結果、圧倒的多数で承認され、パラオが来年、信託統治期限切れで独立するため、その行方が注目されている。

一方、パラオに続いて、憲法に非核条項を盛りこむ国も増え太平洋非核地帯設置要求が強まっている。

文化祭で
ビキニ事件の写真展・
グループ研究



小さい子(小学生)たちが自分の気持で原爆の恐ろしさを素直に書いていられるのに涙が出ました。

テレビやマンガで戦争のカッコよさが平気でまかり通っている中で、これらの感想はとてもとんでもないにしなければならぬし、それを育てていき、戦争への道をくいとめるのは私達大人の責任だと思いました。今、軍備予算がどんどん増え、憲法の平和条項もなくしてゆこう。アメリカの言うとうり

秋の文化祭シーズンに入る頃から、展示館に小人数の小学生のグループ見学が増え始めました。これは、昨年あたりからの傾向ですが、文化祭のクラス展示

にしようという動きが政府で進められています。一人一人が私達や子供たちを戦争の犠牲にしたいは絶対にいけません、誰も命をうばう権利はないのです。

私も今日始めて第五福竜丸をみました。無惨です。もう二度とこんなことがあつてはいけません。江東区 三三才 母親

原爆が悲惨なものだとあらためて感じた。放射能の被害で亡くなる人が早くいなくなつてほしい。でも罪もない人々を殺すなんてひどいと思います。でも第五福竜丸を見て良かった。早く平和な世界になつてほしい。ゆきこ

や、グループ研究の課題にビキニ事件を取り上げる学校が増え、その下調べや資料収集に来館するためです。今年、法政二高生徒会、江戸川区葛西第二中学が協会制作のパネルを利用した

広島・長崎は遠いが、夢の島なら半日あれば来れる。より多くの人に核被害の証人第五福竜丸を見てほしい。これからも出来るだけ多くの人と一緒にまたやって来る。東京大学消費生活協同組合

まだ二回しか来てないが、第五福竜丸を見るたびに、また思い出すたびに、もう二度とこんなことはなくなつてほしいと思ふ。僕は小学校の頃、学芸会でシュプレヒコール「第五福竜丸」をやつて、このことを知った。聞いた時は、こんなことがあつていいものかと何度も思った。これから、こんなことが二度と起こらないように祈るばかりだ。

文京一中 Y・H S・I
K・O M・A M・I
*
原爆つてとてもおそろしい。絶対にやつてはいけないことなんだ。アメリカやソ連なんかは毎日三つも作つてるそうだけどやめなきゃいけないんだ。学校の図書室で「おーいまっつ白ぶね」という本を読んだら、第五福竜丸のことがのつてたよ。久保山さんかわいそうだな。マグロかわいそうだな。船員はこんなことになるなんて思つていなかったらう。原爆なんて絶対反対。 一大小六の三 横塚美砂緒

